



一緒に照らそう 和気のミライ

人と自然がつながる共生の「環」。
未来の宝をまち全体で育む子育て・教育の「輪」
そして、人と人とのコミュニケーションでつながる「話」。
3つの「わ」が一つになり、心「和」むまち和気町へ向け、
一緒に和気のミライを照らそう。

WAKE

TOWN



Three Ring Power WAKE TOWN

人と自然がつながる

共生の「環」。

未来の宝をまち全体で育む

子育て・教育の「輪」

そして、人と人とは

コミュニケーションでつながる「話」。

今、3つの「わ」が一つになり、

心「和」むまち和気町へ。





一緒に照らそう 和気のミライ

Contents

- 02 Prologue
- 04 Ring Power 01:Nature [自然×暮らし]
- 06 Ring Power 02:Connect [子育て×未来]
- 08 Ring Power 03:Camping Talk [対話×まちづくり]
- 12 Interview [生活×本音]
- 14 Tourism [自然・ロマン×観光]
- 16 History [歴史×誇り]
- 18 Company [企業×ものづくり]
- 19 Brand [地域×調和]
- 20 Master Plan [まちづくり×総合計画]
- 22 Town Map

和

気町は、岡山県の東南部に位置する、自然あふれる人口約13,500人の小さな田舎まち。

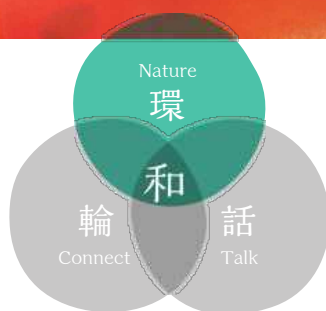
温暖な気候で、地震・台風などの自然災害が少なく、電車・高速道路などの恵まれた交通アクセスも魅力です。

移住者受入体制の整備や子育て・教育環境も充実しており、多くの移住希望者に注目されています。

人と人との心の距離が近く、身も心も温かく和やかに暮らせるこのまちで、ともに明るい未来を照らしませんか。

自然 × 暮らし

自然を生かし、
自然と生きる
命「環」るまち



Ring Power
01

N a t u r e



自然を愛し、 自然と描く共生の「環」

和気町は、地理的要因から台風の直撃を受けにくく、活断層も少ないため、安心して暮らせるまちです。また、「晴れの国」の名のとおりに、温暖な気候で快晴の日も多く、その自然の恩恵を直に浴びて育つ農作物はどれも美味で、カヌーやサイクリングなどのアクティビティも人気です。

また、30年以上前から県内の自然保護の中心地としてさまざまな事業を展開し、近年は

有機無農薬農業など、SDGsにも取り組んでいます。

これから自然を愛し、人と自然が共生できるまちづくりを推進していきます。

WAKE
column

岡山県 自然保護センター

自然保護センターは、県民の自然への理解を深めるため、平成3年にオープンした施設で、四季折々の動植物を見ることができます。特別天然記念物のタンチョウを飼育しており、人工孵化技術は、国内外で高く評価され、海外にも研究員を派遣し、指導を行っています。



自然を生かしたアクティビティ

和気町は、川でのカヌーや山でのキャンプをはじめ、自然を生かしたアクティビティが人気です。近年はウィズコロナの影響でさらにアウトドアの需要が高まり、サイクリングを中心に、町外からも多くの観光客が訪れています。

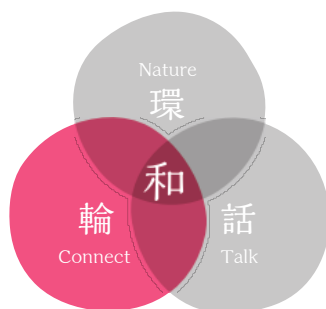


和気美しい森

大自然を堪能できるにも関わらず、清潔な炊事棟、水洗トイレ完備、バリアフリー対応済みで快適なキャンプが楽しめる。また宿泊可能なロッジもあり、囲炉裏をかこんで友達や家族と夜長を楽しむこともできます。



①全国から著名な藤を集めて作られた藤公園。その数約100種類と、種類の多さでは日本一を誇る美しい公園。
②和気町出身の作家・近松秋江にちなんで「秋江園(しゅうこうえん)」と名付けられたもみじ山。燃え上がる情念の人にふさわしいたづまいをみせる。
③戦国時代に天神山城主、浦上宗景が開いた田土地区の棚田。安土桃山時代に築かれた石垣が織りなす美しい風景は、貴重な故郷の宝物。
④シラサギが翼を広げたような形の白い花を咲かせるサギソウは、乱獲や環境の変化で激減。県自然保護センターが保護活動をし、現在は1,000株を超えるサギソウが可憐な花を咲かせている。



Ring Power
02

未来の宝

ともに育む

地域の「輪」で

Connect



巻頭特集
Three
Ring
Power

子育て
×
未来



放課後学習支援

小・中学校に学習支援員を配置し、放課後等に補足的な学習指導を行っています。学習支援員は、地域の方や高校生ボランティアが行っており、英語に限らず、しっかりした学力を身につけ、将来社会で活躍できるよう、地域ぐるみで子ども達を応援しています。

無料公営塾

町内の小学5年生から中学3年生までを対象に、無料で英語の学習ができる公営塾を開講。地域おこし協力隊や地元大学生、外国の方を講師に迎え、英検対策や外国人との英会話の体験授業を実施しています。遊びながら学べる要素を取り入れ、楽しく英語を学べるほか、オーストラリアの学生と遠隔交流授業を実施しています。さらにはイングリッシュキャンプやオンライン英会話など、幼少期から日常的に英語に触れ実践的な英語力・コミュニケーション能力の向上へつなげています。



地域の「輪」で育む 未来の宝

「子どもはまちの宝」として地域全体で育む和気町では、子育て世代を手厚く支援しています。家庭の経済的負担を軽減するため、保育料・給食費の減免や、高校卒業までの医療費の無料化、さらには、地域の食料をふんだんに使った給食の提供など、健康にも配慮しています。

また、日本最古の庶民の学校と言

われる旧閑谷学校

をルーツとする風

土を生かし、無料

公営塾の設置や放

課後学習支援、遠

隔交流授業を導入

し、まちの未来を

担う「人づくり」に

注力しています。

WAKE
column

和気鵜飼谷 交通公園

ミニSLやゴーカート、ローラー滑り台など、子どもも大人も一緒に楽しめる施設。隣接する「和気ドーム」では、屋根付き多目的グラウンドとしてさまざまなスポーツやイベントが行われています。また、公園内の道路がベビーカーでも押しやすい設計になっていたり、公園のすぐそばには「和気鵜飼谷温泉」があったりなど、一日中楽しめる施設です。



充実した子育て環境

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実施しています。無料で遊べ、ボルダリングや屋内砂場がある「子ども広場」では「子育て支援センター」も併設され、子育て世代の交流の場・気軽に子育てに関する相談ができます。また、子育て支援アプリ「すくすくwake」を活用すれば便利でスマートに地域と繋がることができます。





対話 × まちづくり

【町勢要覧特別企画】町長×町民のキャンピングトーク

Camping Talk

対「話」で繋ぐ
人とよちとの
ものがたり



和気町の好きなところ、いいところは？

【町長】本日は、和気町にお住まいの皆さんと、町の魅力を深掘りしていきたいと思いますので、自己紹介含め、個々の好きなポイントを教えてください。

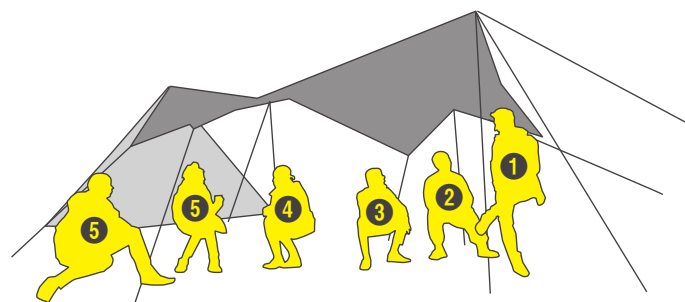
【畠中】私は東京で生まれ育ち、結婚を機に東京から移住しました。今は水泳教室を立ち上げ、200人ほどの会員で全国大会を目指す子たちを育成しています。

和気のいいところは、自然に囲まれているのに、生活するのは困らない、『ほじよい田舎暮らし』が

できるところです。子育ても教育も様々なサポートがあるし、人との距離が近く、知らない人にもあいさつするのが当たり前。東京とは違う、アットホームな環境が心地よいですね。

【やよい】私たちは2年ほど前にイギリスから移住してきました。退職を機に「日本に住みたいね」となった時、仕事で縁があつて和気に来たんですが、その瞬間「あつ、ここだ」と感じて、住むことを決断しました。

和気のいいところは、とにかく静かで安全、心安らぐところ。あと、ユニークな移住者も多く、若い頃に世界をまたにかけて活躍していた方や、私たちと同じように海外からこられた方など、素敵な方々を惹きつける何かがこのまちにあるのだと感じます。イギリス・東京と30年以上住んでいましたが、こんなに素敵な人たちと会えて本当に嬉しいです。いつも起きたら、まちに「おはよう」と声をかけるのが、私たちの日課です。



【参加メンバー】

- ①：横谷さん ②：居樹さん ③：太田町長
④：畠中さん ⑤：デル・やよいさん夫妻

【横谷】私は生まれも育ちも和気町で、現在工務店を経営しています。昔から非常に地域の皆さんに可愛いがってもらっているのです、工務のスキルを活かして地域へ恩返しできたらと日々励んでいます。

和気のいいところは、小さい町だからこそ、各種補助金等が他市町に比べて充実していて、住むにも便利、何かチャレンジするにも助けとなるモノが多くあるので、安らぎとやる気、どちらも得られるところだと思います。

Camping Talk

巻頭特集
Three
Ring
Power

対話 × まちづくり

多種多様な人が
対「話」で通じ合い
よちの未来を
切り開く



【居樹】僕は、1歳の時に和氣に来て、今は和氣閑谷高校で生徒会長と陸上部のキャプテンをしています。

和氣の好きなところは、自然が豊かなところです。以前、修学旅行で東京に行った際、最初は刺激が多くて楽しかったけど、3日目になると「もう帰りたい…」と(笑)。見渡す限りの緑や川の音など、心落ち着く場所です。

また、幼稚園では地域の人との芋掘り体験、中学校では町内の就業体験、高校では地域の子どもへ勉強を教えたりなど、地域との関わりが深いことも魅力だと思います。母にもまちの魅力を感じたところ、18歳未満の医療費免除が助かると言っており、精神的にも経済的にも心豊かに暮らせることが、和氣町の魅力だと思います。

【町長】和氣町は決して都会のように遊べる場所や刺激がある場所ではありませんが、その分、豊かな自然、温かな気候と人々、そしてなにより生活する上で重要な「安心感」に満ちています。今後も『暮らしにフォーカス』を当てたまちづくりに取り組んで、より住み良いまちを目指していきたいですね。

和気町をどんなまちに していきたい？

【畠中】ここ数年、個性ある移住者の方が増え、いろいろな強みを持たれている方が多くなっているのです、そういう方と協力して、もっと新しいことにチャレンジできるんじゃないかなと感じています。例えば、私であればスポーツ・水泳のスキルを活かして、ロマン街道でマラソン大会とか、和気アルプスでトレイルラ



ンとか、川もあるのでカヤックも。和気の自然豊かなフィールドを生かして、『スポーツのまち』として売り出しても面白いかなと思います。

【やよい】ロケーションがいいのに、空き家になっているところが勿体ないと感じています。ここに手を加えることで、崩れかけている危ない場所が、おしゃれなカフェや雑貨屋さんになれば途端に素敵な場所に変身できるので、ぜひチャレンジして欲しいですね。また、道の駅ができたら嬉しいです。もしできれば、消費者は新鮮なお野菜が購入でき、農家さんはモチベーションアップに期待できると思います。

それと、長い海外生活で得た英会話のスキルを活かして地域貢献も考えていて、学校の勉強とは別に、実際の生活を通して、体で覚えていけるような英語体験を提供していきたいですね。

【横谷】僕は大工のスキルを活かして『住まいのかかりつけ医』になりたいと思っています。単なる家の補修のみではなく、お客さんとコミュニ

ケーションを図りながら、地域コミュニティを維持して、今後自分が関われなくなっても、まち・地域の発展に欠かせない母体をつくりたいですね。

もう1つは、農業にチャレンジしたいと思っています。自宅の目の前に180度スラックと田んぼがあつて、今70、80代のおじいちゃん、おばあちゃんたちが腰を折りながら頑張っている感じがします。ただ、今後担い手がなくなると耕作放棄地が増え、地元野菜もこの美しい景色もなくなるので、まずは農業法人を立ち上げようと思っています。

そうすることで、地産地消や雇用の拡大、まちの美観維持など、地域の活性化につなげていきたいと思っています。

【居樹】僕は、将来和気町役場に就職して、今までお世話になった和気町に恩返しをしたいと思っています。これまで、町の人たちにいろいろなことを経験させてもらったり、学んだり、助けてもらったりしたので、次は自分が町の人を抱える

課題を解決していきたいです。すし、もっとまちを盛り上げて、まちの

認知度をあげていきたいですね。

それと、もっとスポーツの楽しさを知ってもらいたいと思っています。今、高校で部活に入ってる生徒は2分の1しかいないので、スポーツを通して、体を動かす楽しみやチームメイトと一つの目標に向かって突き進む喜びをとともに味わって欲しいです。そのためには、もっとスポーツに親しめる公園や場所が町内にできれば嬉しいです。

【町長】皆さん貴重なご意見ありがとうございます。ただ、まちの良いところだけでなく、解決すべき課題も話していただき、今後のまちづくりにぜひ活かしていきたいと思っています。また、皆さんにおかれまして、今後さらに和気町と一緒に盛り上げていただければ幸いです。改めて本日はありがとうございます。



ホ
ン
ネ

暮
ら
し
の

語
ら
う

和
気
を

01

中村さんご家族（一般社団法人 まなびと）

僕は東京出身で、塾の講師をしていた時の知人からの紹介で和気町を知り、地域おこし協力隊として移住しました。妻は岡山市出身で、美術の講師や学芸員、海外でのワーキングホリデーの後、僕の後任として来たことがきっかけで出会いました。

地域おこし協力隊では、英語教育の強化をミッションとして携わり、今は私塾と並行して、サポートや地域のさまざまな事業に参画しています。

和気町は確かに田舎ですが、暮らしに不便を感じたことは特にありません。娘が生まれたばかりですが、行政からのさまざまな支援や地域の方の温かさがありがたいですね。

今まで都会から和気町より人口が少ない田舎、海外とさまざまな場所で暮らしてきましたが、スッと地域に溶け込めたのは和気町が初めて。歴史的にも交通の要衝だった文化がいまだに受け継がれていて、人を受け入れる気質や近すぎず遠すぎない人との距離感が心地よいですね。

今後は、子どもたちへの教育を中心に、移住や元地域おこし協力隊という経験やスキルを活かし、外から人を呼び込んだり、行政と民間の架け橋となるようサポートしていきたいです。

人との距離感が
心地よい

僕らにとって

第2のふるさと



Interview

生活 × 本音

02

砂子さんご家族（株式会社 砂子）

農機具の販売・修理のほか、農業を営んでいます。農業は数年前にスタートし、まちからの補助や地域の支え、他地域での研修などを活かし、米を中心に白ネギなどを栽培しています。また、高齢化などで放棄する畑を預かったり、これまでの起業・農業の経験を活かし、アドバイザーとして少しでも故郷に貢献できればという思いで活動しています。

農業の楽しみはやればやるだけ成果が見えるところと、鮮度抜群のものがすぐ食べられること。これは農家の特権ですよ（笑）

他地域へ行くと、そのたびに和気町の魅力を再認識しています。田舎だけど生活用品は街中で揃うし、岡山市内まで電車で30分。電車・バス・高速道路とアクセスも良好なので、住みにくさを感じたことはありません。

今後は、「和気といえばこれ！」と言える農作物を作るとともに、地域の農業をさらに盛り上げていきたいです。



暮らしやすくて
チャレンジに
満ちたまち

ありたい
憩いの場
で
地域の
「足」を
支える
暮らしの

03

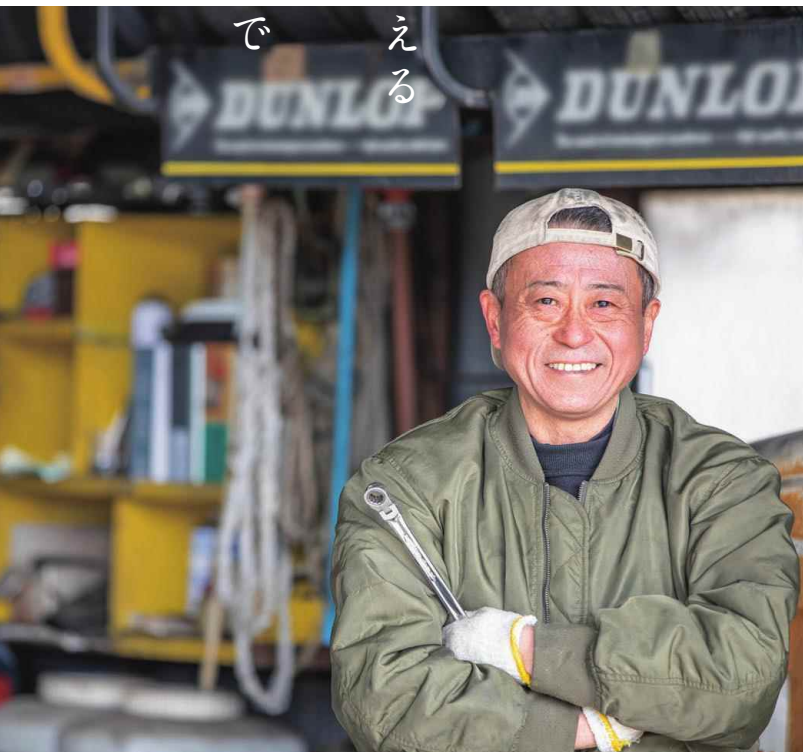
佐藤さん（有限会社 佐伯自動車）

生まれも育ちも和気町で、父親の後を継いで車の販売や修理をしています。

和気町のいいところは、自然が豊かなところ。昔は鶴が2～3羽川でくつろいでいたり、蛍が至るところで舞っていました。全国的に開拓が進み、自然の豊かさと引き換えに便利になりましたが、そのなかでも和気町は自然とバランスよく共生しているまちだと思います。

僕は車屋ですが、ここが車を修理するだけの場でなく、地域の方の憩いの場になればと思っています。この前は、お得意さんが仕事じゃなくても入店してコーヒーを飲んで帰ったり、別のお得意さんは「寒いね～」といいながらストーブの前で1時間ほど新聞を読んで帰ったりと（笑）。こういった日常風景も、和気町の魅力の一つじゃないですかね。

今後、まちがさらに発展するためには若い力が必要なので、今まちにいる若い子たちが住み続けたいと思える、町外からも移住したくなるまちづくりを陰ながら支えていきたいですね。





片鉄口マン街道

旧片上鉄道の線路跡を活用した、全長34kmのサイクリングロード。アップ・ダウンが少なく、沿道には駅舎、プラットフォーム、信号機など往時の面影がそのまま残っているため、女性や若者にも人気のスポットです。

T o u r i s m

自然・ロマン×観光



和気鵜飼谷温泉

神経痛や関節炎、筋肉痛、美容などに効能があり、露天風呂をはじめ、薬草風呂やサウナ室も完備しています。広々とした大浴場で、日頃の疲れを癒す、くつろぎのひと時が楽しめます。

四季とロマンが堪能できるまち

和気町では、四季折々の景色と歴史ロマンが堪能できる祭りやイベントが、年間を通して開催されています。なかでも藤の種類日本一の『藤まつり』や、お盆の送り火に合わせて開催する『和文字焼きまつり』は、県内外から毎年多くの観光客が訪れます。

また、廃線を利用した片鉄口マン街道でのサイクリングをはじめ、登山やキャンプなどのアウトドアも人気で、汗を流し、帰りは温泉へ。一日中家族やパートナーなどと楽しめるスポット満載です。



和文字焼きまつり

毎年8月16日、京都の五山送り火と合わせて、観音山に「和」の火文字が点火されます。「和」の文字は、「和気町」を表すとともに、「大文字」の火文字とあわせて「大和」も意味しています。火文字に使う薪組みには、毎年多くの学生や町民が協力し、その努力や思いが火に宿り、夏の夜空を幻想的に彩る和気の夏の風物詩となっています。



和気アルプス

春は山ツツジ、秋は見事な紅葉と、季節ごとに美しい表情を見せる登山愛好家からも人気の山。低山ながら尾根は眺望もよく、ルートの豊富さから多くのハイカーに人気を博しています。



藤まつり

全国から著名な藤を集めて作られた、種類の多さで日本一を誇る美しい公園です。花が満開となる時期には、紫色の燈る雨のようにも見え、見る人を引き込む幻想的な美しさです。

ス
ポ
ツ
ト
ヘ

競
演
す
る

ロ
マ
ン
が

自
然
と

WAKE column



四季折々のイベント

春には、「エーデルワイス」「黒真珠」をはじめとした100種以上のバラが可憐に咲き誇る『①日笠バラまつり』(5月中旬～)をはじめ、夏には、川遊びを楽しみながら、自然の大切さを楽しく学ぶ『②金剛川水辺の楽校』(7月)、秋には、和気町で収穫された野菜や特産品の販売や、広虫姫太鼓・清麻呂太鼓の郷土芸能などのステージ演奏、屋外ではフリーマーケットも開催される『③ふるさとまつり』(11月23日)、そして冬には、駅前のロータリーをイルミネーションで彩る『④和気駅前イルミネーション』(12月～)など、和気町では年間を通じて四季折々のイベントや祭りが開催されています。

三保高原スポーツ&リゾート

標高430m、東吉備高原の一角にある『三保高原スポーツ&リゾート』。貸別荘のような気分を味わえるコテージをはじめ、テニスやフットサル、グラウンドゴルフも楽しめるスポーツ施設があり、秋にはりんご狩りなど、家族で一日中楽しめるスポットです。



History

歴史 × 誇り

和気の歴史を辿り
先人の志に触れる旅へ



悠久の風を感じる旅へ

和気町には、縄文時代の遺跡や古墳も100基あまり現存し、昔から人々が暮らしていたことがわかります。

奈良時代以降は時代の波にのまれ、戦国時代には戦乱に巻き込まれますが、江戸時代からは、田原井堰の工事がなされ安定した米づくりができるようになり、高瀬舟の川港としても発展していきます。

明治期以降は、山陽本線や片上鉄道が開通し、新たに和気駅を中心に賑わいが生まれ、現在の姿へと移り変わりましたが、まちのいたるところで各時代の面影を見ることができます。

時を超えて今なお口マン薫るまち和気町。悠久の風を感じる旅へ出かけませんか？



由加神社

古くから歴代の有力者から崇敬されてきた由緒ある神社で、安産祈願・厄除祈禱のため町外からも参拝客が訪れます。瓦2万数千枚を利用した屋根瓦、社殿・本殿にある美しい装飾の数々、灯笼のライトアップなど、見所満載の神社です。

～和氣清麻呂公の足跡を辿る～

忠臣の鏡

清麻呂公の人物像

和氣清麻呂公は、奈良時代から平安時代に活躍した人物で、天平5（733）年に和氣町に生まれました。桓武天皇の信任を得て近畿地方の河川改修や開削を行って治水に努め、数多くの土木工事をなし、美作・備前国造として民の負担軽減を図るなど民生の安定と発展に努めました。特に至誠を貫いた道鏡事件、及び自ら立案した平安遷都は史上有名な、今もお和氣町の発展を見守っています。



和氣清麻呂公

和氣清麻呂公は、和氣町の名の由来になった人物で、旧十円札（写真右上）の肖像に使用されるなど全国的に有名な偉人です。町内には、和氣清麻呂公の銅像や石碑が随所にあり、なかでも生誕1250周年を祝い寄贈された高さ4.63mもの銅像（写真上）は迫力満点。ほかにも資料館やゆかりのスポットが多くあったり、ゆるキャラ「わけまるくん」のモチーフになったりするなど、大人から子どもまで、広く町民に親しまれています。

WAKE column



和氣町歴史民族資料館

和氣清麻呂公に関する資料を常設展示しているほか、和氣町の古代・中世・近世に関する文化遺産や生活の歴史にまつわる資料が展示されており、和氣町をより深く知ることができます。

道鏡事件



769年、仏教政治の波に乗って政界へ入った僧の道鏡は、女帝の孝謙天皇から寵愛を得て法王に出世し、天皇の位を望むようになってしまいました。そこへ九州の宇佐八幡より「道鏡が天皇になれば天下太平となる」とのお告げがもたらされ、天皇は神意を確かめるため和氣清麻呂公を宇佐神宮へ遣わせます。帰った和氣清麻呂公は「道鏡を除くべし」と反対の内容を言上し道鏡を激怒させ、姉の広虫姫とともに流罪に。一年後、天皇が没し、道鏡は失脚、2人は罪を解かれ、事件は落着きました。



和氣神社

和氣清麻呂公をはじめ、広虫姫や和氣氏の祖先が祀られている神社で、御祭神の和氣清麻呂公と広虫姫は「こもりさま」と呼ばれ、子どもの守神として親しまれています。また、拝殿前の狛犬ならぬ「狛イノシ」は、和氣清麻呂公の守護として崇められており、足腰の健康や開運、厄除にご利益があるといわれ、町内外から多くの方が参拝しています。

和氣清麻呂公碑

政庁跡地といわれる田ヶ原地区に建っている和氣清麻呂公の顕彰碑。高さ4m、台座も含めると8m以上になり、延べ28万人超から寄付金を集め、昭和15（1940）年に建立されました。また、このあたりは政庁跡とされ、碑も建っています。



こいのぼり
国内シェア
NO.1



株式会社 徳永こいのぼり

昭和22(1947)年創業。日本画家の徳永春穂が、長男の誕生を祝うために鯉のぼりを描いたことから始まり、鯉のぼりメーカー業界トップへと昇りつめました。「和気の街から世界の空へ」をスローガンに、国内の供給に留まらず海外への輸出も行っています。

プラマグ
国内シェア
NO.1



株式会社 メイト

昭和45(1970)年設立。国内シェアNO.1、世界シェアの3割近くを占めるプラスチックマグネット材料は、スマートフォンや電化製品などに使用されています。時代の変化に即してオンリーワンの新素材を創造することで、社会に貢献する企業です。

日本、世界に誇る
和気のものづくり
スピリッツ

国産ブロイラー
種鶏シェア
90%以上



株式会社 日本チャンキー

昭和42(1967)年設立。約5万坪の広大な敷地で種鶏の生産を行い、国内シェアは90%以上にも達しています。健康で良質なブロイラー用種鶏の供給と、飼育技術の普及を通じて、日本の食生活に貢献しています。

国内
最大規模
のボトリング
工場



株式会社 岡山和気ヤクルト工場

乳酸菌飲料の市場シェアNO.1を誇るヤクルト本社。その生産子会社として、国内最大規模のボトリング工場として和気町に設立。「世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献する」というヤクルトの理念に基づき、購入者の信頼に応える高品質な製品を生産しています。

あんこの
製造量
日本トップ
クラス



谷尾食糧工業 株式会社

「おいしさづくりは素材から」をコンセプトに、産地と二人三脚で取り組んでいます。餡の原料となる小豆は、北海道常呂町の契約農家から仕入れることで、風味豊かな餡を生産しています。岡山の特産である白桃やビオーネを使ったゼリーの製造も行っています。

日本、世界トップクラスの企業から選ばれる和気町。
ものづくりスピリッツにあふれる企業をご紹介します。

Company

企業 × ものづくり

01 彩り米 エコファーム彩

古代から引き継がれて来た生命力豊かで、色彩も豊かな4種の古代米。農薬、除草剤、肥料も使用せず、稲本来の生命力を引き出し、天日干しでさらに美味しさを引き出した一品。



02 手作りこんにゃく等 佐伯蒟蒻(有)

和気町産のこんにゃく芋を原料に、創業300年の伝統製法で、味しみがよく、サクサクとした食感のこんにゃく。煮物やおでんとして楽しめるほか、こんにゃくを麺にした糖質ゼロ麺のラーメンやこんにゃく入りゼリーも人気。



03 ピオーネゼリー等 谷尾食糧工業(株)

芳醇な香りの岡山県産ピオーネをたっぷり使用したピオーネゼリーをはじめ、完熟した桃を手作業で丁寧に皮むきし、高貴な風味をそのまま味わえる白桃ゼリー、食物繊維やミネラル豊富な無花果ゼリーが楽しめる。



04 リーフレタス 恒次工業(株)

プラント内で栽培しており、農薬を使用せず残留農薬の心配もゼロで、虫による被害や生菌数が少なく、鮮度も長持ち。柔らかく食べやすいと大人から子どもまで人気のレタス。



05 ジャム・シロップ等 BBJ

無農薬自家栽培のブルーベリーに、血糖値の上がりにくい還元麦芽糖を使用した、健康と美味しさを兼ね備えたブルーベリージャム。このジャムに大山バターを加えたフルーツバターや、無添加のジンジャーシロップもオススメ。



06 辰治包 (有)福井堂

ミルク餡のさっぱりとした甘さと、醤油のコトキレが混ざり合い、「日本らしく、でもどこか新しい。」そんな甘味の世界へ誘ってくれるおまんじゅう。おもちゃのようなもちもちした食感がやみつきになること間違いなし。



07 ドライフルーツ等 松石農園

有機肥料多用栽培、自家農園産の果物のみを原材料とした、無添加ドライフルーツ。果物本来の自然な甘さが凝縮されており、ワインのつまみやデザートにオススメ。



08 本格手延べ麺等 美作そうめん山本

すべての素材にこだわり、独自開発の二段熟成が風味とコシを生み出している本格手延べ麺。そうめんをはじめ、うどんやそば、桜や藤をイメージした麺など、種類も豊富。小鍋で調理できる丸い個食包装がうれしい。



09 和氣りんごのうた 和気町特産品づくり研究会

佐伯観光りんご園のりんごを使用し、移住者のアイデア・デザインと地元の方々の協力で誕生したシードル。りんごの豊かな味わいと炭酸が絶妙にマッチし、ポリフェノールやビタミンなどの栄養分も摂れるお酒。



10 結きくらげ 結ファーム

珍しく貴重な「白いアラゲキクラゲ」を農業女子が愛情込めて栽培。農薬を使用せず、アミノ酸、食物繊維、ビタミンD等も豊富で、健康や美容にオススメの食材。



11 三色小町 ハンドクリーム 和気閑谷高等学校

和気町の魅力を全国へ発信するため、企業と学校が共同で開発したハンドクリーム。和気町をイメージした藤の香りで、ベタつかず、さっぱりしすぎない、ほどよい潤い感が使い心地よい。

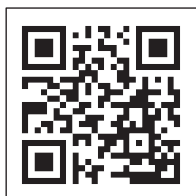


12 バック・Tシャツ等 Wake up design

和気好きによる和気好きのためのグッズ。おでかけに使えるミニトートバッグをはじめ、普段着にも使えるTシャツ、買い物に便利なマルシェバッグなど、地元アビールがおしゃれにできるアイテム。



人と人と、それぞれが調和し誕生した和気ブランド「和気◎印」。
「らしさ」が詰まった特産品の調和ストーリーをじっくり味わおう。



▲詳しくはこちら

Brand

地域 × 調和



心地よい、わけがある。
和気◎印

Master Plan

まちづくり × 総合計画

すべての住民のいのちと暮らしを守ることを一番大切にしながら、
みんなが心地よく暮らせる「陽だまりのようなまち」をめざして



【まちづくりの基本理念】

安心

すべての町民の
いのちと暮らしを守り
安心で快適に暮ら
せるまちを創る

共生

あらゆる世代が心身
ともに健康で心豊かに
人生を謳歌できる
まちを創る

つなぐ

若者世代を軸に
次世代につながる
活気あるまちを
創る

【まちの将来像】

人と地域が輝く 晴れの国の 和気あいあいのまち

【施策の大綱】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界的に取り組みが進められていSDGsについて、和気町でも「誰一人取り残さない社会」を目指し、全ての人が安心して幸せに暮らせるよう、取り組みを進めています。

基本目標①：暮らし安全・環境

安全・安心で
やすらぎを実感できるまち



基本目標②：教育・文化

変化の時代を生き抜く力を育み、
共に学び続けるまち



基本目標③：子育て・保健・福祉

だれもが健康で
はつらつと暮らせるまち



基本目標④：人権・協働

認め合い、支え合い、
笑顔あふれる共生のまち



基本目標⑤：都市・生活基盤

美しい自然と調和した
快適で豊かなまち



基本目標⑥：産業振興・交流

交流が生まれ、
活力に満ちたまち



基本目標⑦：自治体運営

人口減少社会に対応した、
効率的で持続可能な行財政運営



Town Map

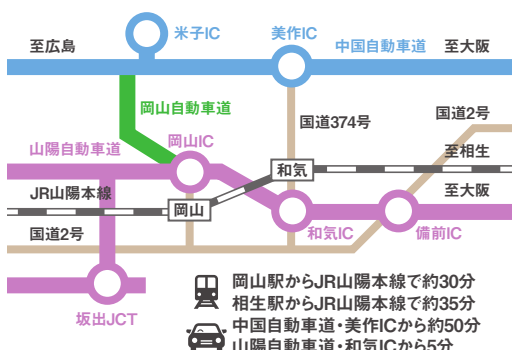
住みやすくアクセス良好なコンパクトタウン、和気町。
本誌で紹介しきれない見どころスポットを巡ってみてはいかが？

Map凡例

- S スーパーマーケット・ホームセンター
- 〒 郵便局
- 文 学校
- X 交番・駐在所
- + 病院

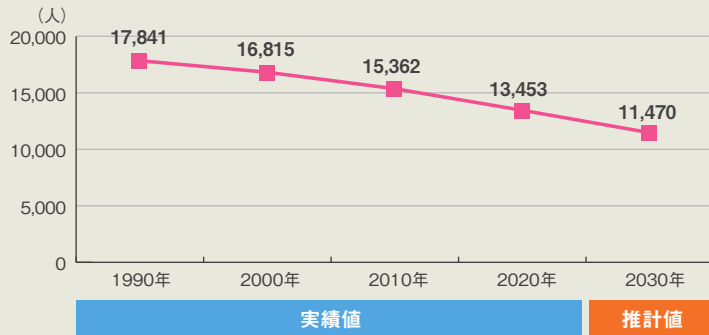


アクセス方法



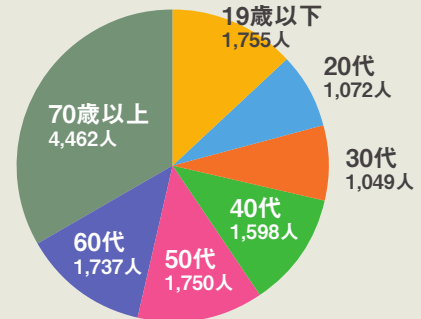
Town Data

人口推移



資料:実績値は、総務省「国勢調査」
推計値は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成30年推計)」

年齢別人口比率



令和5年1月1日
資料:和気町



町章

カタカナの「ワ」をモチーフにして、「ケ」を組み合わせたデザイン。日本一の藤の花が風に揺れるイメージで、うるおいと安らぎのあるまちを表現しています。



町花:藤

和気町には、種類の多さ日本一を誇る藤公園があり、全国的にも有名です。また、藤は生命力豊かで、町の発展をにふさわしい花であることから町の花に決定しました。



町木:さくら

町内には、桜の名所が多数あり、また、日本を代表する植物であり、古くから町民にも愛され、親しまれてきたことから、町の木に決定しました。



町鳥:タンチョウ

和気町には、タンチョウの人工飼育を行っている岡山県自然保護センターがあり、飼育数日本一を誇っています。また、古くから「めでたい鳥」といわれ、優雅に美しく飛ぶ姿から、町の鳥に決定しました。

Mayor's Voice

和気町を 応援してください方へ

和気町は、岡山県の東南部に位置する、緑に囲まれた自然豊かな町です。2006年に旧佐伯町と旧和気町の2町が合併して誕生して以来、温暖な気候、自然災害の少なさ、恵まれた交通アクセスなどの地の利を生かし、産業・観光振興、移住定住促進などに取り組んでまいりました。

少子高齢化、人口減少の流れが進む中、安全・安心、公平・公正である行政サービスをはじめ、誰にも解りやすく情報を公開し、住民参加型の町政を目指し取り組んでいます。中山間地域の小さな町ではありますが、観光資源や特産品、文化財など、発展に繋がるものを有効に活用し、また、若者の流出による人口減対策として、商工業の発展と雇用の確保のために企業誘致にも積極的に取り組んでいます。

「人にやさしい町づくり」を掲げ、子育て支援、教育の充実、高校の魅力化など、町の将来に欠くことの出来ない取り組みを最優先に、魅力あふれる町づくりに向け、邁進してまいります。

この町勢要覧が、本町の取り組み等をより多くの人に知っていただくとともに、本町をより深くご理解いただく一助になれば幸いです。

和気町長 太田 啓補





Information

▼和気町公式サイト



詳しくチェック!



▼移住サイト「WAKESUMU」



詳しくチェック!



▼観光サイト「Wakegenic」



詳しくチェック!



▼特産品ブランド「和気◎印」



詳しくチェック!



▼各種SNS

各種SNSでも
和気町の
イベントや
祭り等の情報を
発信中!!



YouTube



Twitter



Instagram



Facebook



企画・発行:岡山県 和気町

発行年月:令和5(2023)年3月 〒709-0495 岡山県和気郡和気町尺所555 ☎:0869-93-1121
制作:株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所